

共同運営部門：がん治療センター

—概要—

がん治療センターは消化器外科、消化器内科、放射線診断科、放射線治療科、血液内科、肺腫瘍内科、呼吸器外科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科、口腔外科、薬剤師、理学療法士、栄養管理士、看護局（がん性疼痛看護認定看護師）、事務局から選出されたメンバーで構成された、がん治療に特化した共同運営部門である。当センターでは様々な臓器のがん診療の現状を診療科横断的に公開し「大阪府指定がん拠点病院」としてがん診療の質向上に努めている。

当センターの具体的な取り組みの一つとして、最適ながん治療提供をめざし、診療科横断的に各臓器の専門医師、看護師、病院事務など多職種専門家が一堂に会したカンファレンスを毎月開催している。さらに、外来化学療法室運営ワーキング、カンサーボードも毎月開催し治療方針決定困難ながん症例の検討・方針決定を行っている。さらに薬物療法の新規レジメンの検討も行っている。また、がんに伴う疼痛コントロールを含め身体的・精神的苦痛を和らげることを目的として『がん緩和ケアチーム』がつけられた。このチームの活動の一つとして在宅医療への移行など地域医療との連携、がん患者・家族に対する相談業務も担っている。特に、緩和ケアチームでは、がんと診断されたときから本チームが介入することにより予後が改善するとのデータをもとに、緩和ケアチームの早期介入を心がけている（具体的な活動内容、件数については緩和ケアチームの年報報告を参照ください）。2016年度からは、がん化学療法看護認定看護師やがん性疼痛看護認定看護師さらに、緩和ケア認定看護師が連日がん患者の訴えや疑問点等に相談・対応している。また、医師の病状説明や治療方針の説明に立ち会い、患者の治療への理解を深めるようサポートしている。5大がん（胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、肺がん）を中心としたがん登録事業や各種情報の収集・提供（がんサロン＝らふの会を通して患者、ご家族の交流を図る）なども当センターの活動範囲となっている。

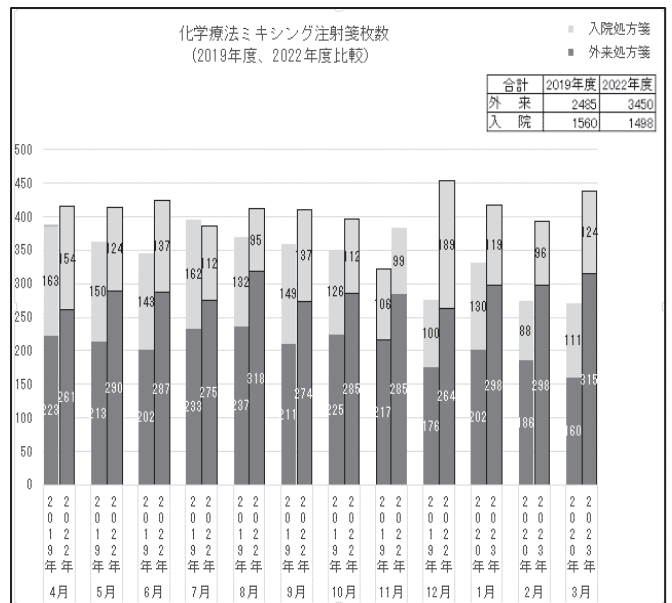
近年注目されている癌免疫療法、特に免疫チェックポイント阻害剤を応用したレジメンが多く導入されている。それに伴い免疫関連有害事象(irAE)の発症が増加しており、迅速かつ的確な対応が求められる切迫した症例も散見される。当センターでは『irAE対策チーム』をいち早く編成し、主治

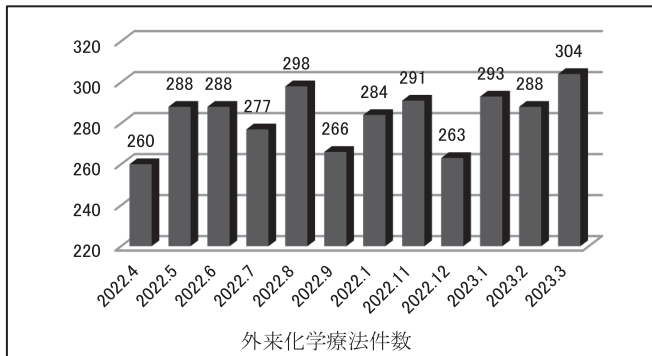
医の専門領域外の免疫関連有害事象に対し臓器横断的に対応できる体制を構築している。

当センターでは多くのがん手術を実施している。近年、日本人の急速な高齢化に伴いがん患者の高齢化も一層加速している。この患者層の変化に対応すべく、がん手術の術前・術後早期にリハビリテーションを導入し術後合併症を回避する工夫を行っている。がんリハビリテーションの早期導入により、周術期の合併症の減少、早期社会復帰が可能となっている。さらに、術後肺炎の主要原因として誤嚥がある。この術後誤嚥性肺炎を予防すべく周術期口腔管理にも注力している。当センターに隣接する薬局には口腔ケア専用の洗浄液や洗浄用ゲルを新たに設置し患者自身でも口腔ケアを進められるよう整備している。また、がん手術の術後および抗がん剤投与などに伴う食欲不振などに対しがん栄養指導を積極的に行っており、がん手術、抗がん剤投与だけでなく『がん患者を取り巻く全方位的な治療・支援』を実施している。

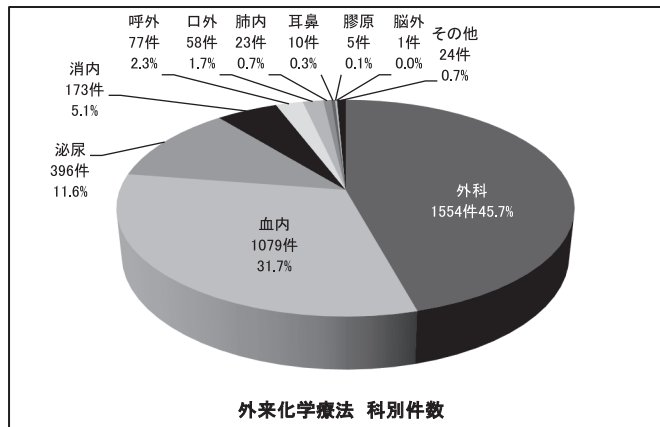
当センターは「大阪府がん診療拠点病院」に指定されており地域住民の皆様にも最適・最新のがん診療を提供できるよう努力している。今後は院内整備をさらに進め『国指定がん診療連携拠点病院』の取得を目標とする。

—実績—

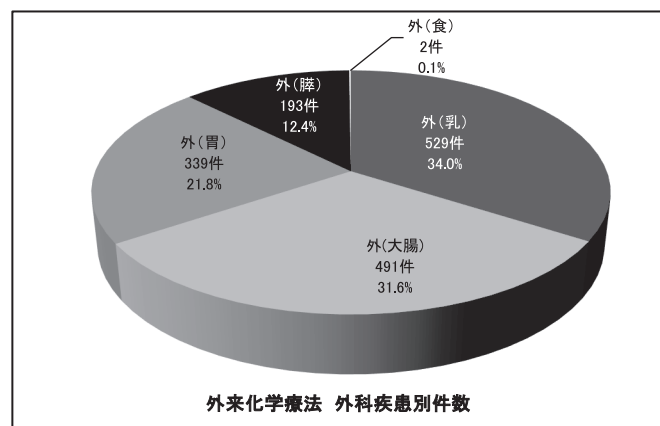




術前説明風景



外来化学療法室でのカンファレンスと実際の化療室内



—今年度の成果と来年度の取り組み—

2022年度のがん治療検討委員会開催件数は3回であった。2023年2月よりがん治療検討委員会を毎月開催するように変更した。また2023年6月には当センターおよび泉佐野医師会との共催で『南大阪がん治療フォーラム』を開催することが決定しており、地域の先生方との交流を深め、がんゲノム医療など最新のがん治療について討議する予定である。

—来年度への抱負—

診療科の医師だけでなく管理栄養士やリハビリ技師などを新メンバーに迎えてがん治療の質向上を目指す。さらに、患者本人、ご家族からの貴重なご意見を積極的に吸い上げ、患者本位のがん治療体制構築に努力する所存である。

がん治療検討委員会 委員構成

部署	氏名
1 副病院長兼診療支援局長兼外科主任部長兼がん治療センター長	種村 匡弘
2 総合内科・感染症内科 膠原病内科部長兼リウマチセンター長	入交 重雄
3 肺腫瘍内科 部長	森山 あづさ
4 血液内科 部長	釜江 剛
5 消化器内科 主任部長	大西 亨
6 外科 部長	三宅 正和
7 外科 医長	綱島 亮
8 脳神経外科 部長	出原 誠
9 泌尿器科 部長	射場 昭典
10 産婦人科 副部長	坪内 弘明
11 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任部長	礒田 猛真
12 口腔外科 部長	大前 政利
13 病理診断科 部長	今北 正美
14 患者サポートセンター兼急性期ケア推進室 看護師 がん性疼痛看護認定看護師	杉野 幸恵
15 ICU 副看護師長	平尾 美紀
16 8階海側病棟兼急性期ケア推進室 看護師 緩和ケア認定看護師	樋口 紀美子
17 診療支援局長兼放射線部門長兼放射線センター長兼放射線治療センター長	中前 光弘
18 薬剤部門 主幹	中川 直樹
19 薬剤部門 主査	西井 拓人
20 検査・栄養部門 栄養管理	林 美幸
21 臨床技術部門 臨床工学 部門長兼血液浄化副センター長	荒川 昌洋
22 リハビリテーション部門 理学療法士	栗山 泰典
23 医療マネジメント課 課長	平松 昌典
24 医療マネジメント課 診療情報管理士	原田 あゆ
25 がん相談支援センター	下村 恭子
26 事務局	坂田 祐美子